

EMPOWERING GLOBAL LEADERS WITH INNOVATIVE EDUCATION AND A WORLD-CLASS PERSPECTIVE



大前 研一

(BBT大学・大学院 学長)



柴田 巖

(代表取締役社長)

グローバルな視野と 革新的な教育を通して、 世界で活躍するリーダーを育成する

株式会社Aoba-BBT (旧: ビジネス・ブレイクスルー) は、ビジネスのパラダイムが大きく変化する21世紀において、ビジネスパーソンが常に自らをアップデートし続けるための「Lifetime Empowerment (生涯活力の源泉)」を構築すべく、1998年に創業いたしました。以来、「世界で活躍するリーダーの育成」を不変のミッションとし、教育の力を通じて持続可能な社会の実現に貢献してまいりました。

私たちは創業当初から、変革を恐れず、自らが教育イノベーションの先駆者であることを目指してきました。世界初の24時間ビジネス教育CS放送局 (BBT757ch) の開設、自社開発のオンライン学習プラットフォーム [AirCampus®] の提供、そして日本初の100%オンラインで文部科学省認可を受けた大学・大学院の創設といった数々の挑戦が、その証です。これらの取り組みにより、当社の「リカレント教育」事業は確固たる基盤を築いてまいりました。

また、2013年以降は、1歳から18歳の学習者を対象としたインターナショナルスクールを開始し、現在では「プラットフ

ォームサービス」事業として、当社の売上と営業利益の約半分を占める成長領域へと発展しております。

グローバル化とテクノロジーの進化が加速する現代において、私たちは年齢・国境を超えて学び続けることができる環境づくりを推進し、EdTechやAIを活用した個別最適化学習の高度化に取り組んでいます。これにより、幼児から経営層に至るまで、多様な学習者が自らの可能性を広げ、未来を切り拓く力を獲得できるよう支援しています。

創業から四半世紀を経た今、Aoba-BBTはさらなる進化と社会的価値創造を目指し、「次なる成長ステージ」へと歩みを進めています。インターナショナルスクール、オンライン高等教育、企業研修、起業家育成など、多角的な教育事業を通じて、世界中の人々が自らの未来を主体的に築くための環境を提供し続けます。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

リアル（集合）教育 インターナショナルスクール卒業生の進路実績から見える、世界水準のボーダレスな学び

幼児
初等部
中等部
高等部

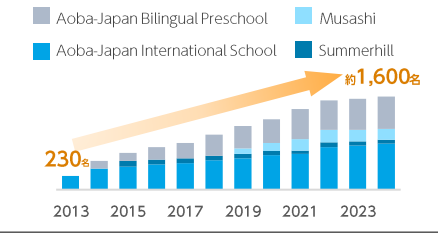


■ 未来のリーダーを育てるスクール

Aobaグループでは、すべての学習者が「自ら考え、行動する力」を備えたグローバル人材へと成長できるように、教育の質の継続的な進化を図っています。その中核を担うのが、国際バカロレア・ディプロマ・プログラム（DP）であり、本校のIBDPスコアは一貫して世界平均水準を維持しています。

Aobaでは、スコアのみならず、生徒一人ひとりの価値観・関心・強みを起点とした進路選択を支援し、将来の目標や夢に応じた自律的なキャリア形成を後押ししています。こうした方針のもと、各キャンパスにおいても探究型学習と個別最適化支援の実践が広がり、Aobaグループ全体として多様なリーダーシップの芽を育てる教育拠点へと進化を続けています。

生徒数の推移



■ 世界基準の教育と個別最適化された支援体制

Aobaの卒業生は、東京大学、京都大学、早稲田大学、慶應義塾大学などの国内名門校に加え、カーネギーメロン大学やカリフォルニア大学、トロント大学、インペリアル・カレッジ・ロンドンといった海外のトップ大学へも継続的に進学しており、探究型カリキュラムときめ細かな進路指導により、国際社会で活躍できる人材を育成している証です。

アート分野を志す生徒が英国の専門大学から早期合格を得たり、プロゴルファーを目指す生徒がスポーツ推薦で進学を決めるなど、柔軟で個別化された進路支援が強みです。

2024年度卒業生合格先

	大学	ランキング
国内	東京大学	32
	京都大学	50
	早稲田大学	199
	慶應義塾大学	201-250
海外	インペリアル・カレッジ・ロンドン (英国)	2
	ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン (英国)	9
	トロント大学 (カナダ)	25
	マギル大学 (カナダ)	29
	ミシガン大学 (英国)	34
	カリフォルニア大学 (米国)	42
	カーネギーメロン大学 (米国)	44

オンライン（遠隔）教育 BBT大学・大学院がもたらす“学びの力” — 卒業生が語る成長の実感 —

BBT大学
BBT大学院

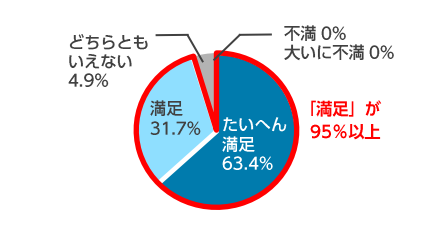


<BBT大学> 学びが人生を変えた

2025年春の修了生を対象に実施したアンケートでは95%以上がプログラムに「満足」と回答しました。「本質を見抜く力」「新たな問いを立てる力」など、実務直結のスキルを体系的に学び直すことで、自身のキャリアや人生に大きな影響を与えたとする声が多く寄せられています。

- 「課題の捉え方が根本から変わり、経営判断に深みが出た」
- 「受講前と比べ、社内での立場や役割が大きく変化した」

BBT大学院 満足度アンケート結果

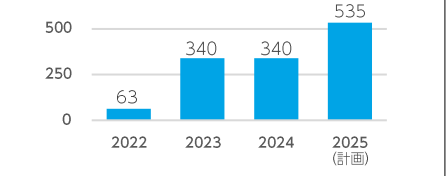


■ 短期集中型プログラムが成長を牽引

—— 大学事業の新たな収益モデルとして確立へ

本科課程の受講生数が頭打ちとなる中、2022年度より新たに展開したショートコース（短期集中型プログラム）が、大学事業の成長ドライバーとして注目されています。社会人のリスキリング需要に即した機動的かつ専門性の高いプログラム設計により、3年間で受講生数が約5倍に拡大。新規開講した複数の講座でも早期に定員充足を達成するなど、順調な立ち上がりを見せています。柔軟な学習設計と教育資産の再活用を通じた高収益モデルの構築に寄与しており、今後も継続的な拡張と事業収益へのインパクトが期待されます。

インテンシブコース受講者数推移



ブレンド（集合+遠隔）教育 多くの企業から支持されるAoba-BBTの人材G育成



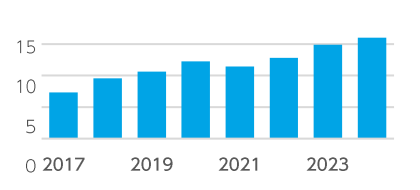
ビジネスパーソン

CXO

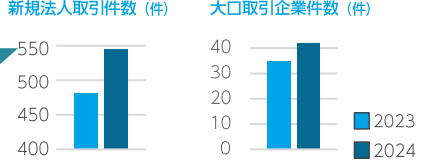
<法人営業>

6年間で法人営業売上高は倍増。新規法人取引及び大口取引企業件数とも増加基調にあります。

法人営業売上高 (億円)



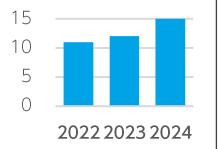
新規法人取引件数 (件) 大口取引企業件数 (件)



<グローバル経営人材育成> 高付加価値領域への展開例

日英両言語での教育力を強みに、外国人幹部育成や日本人の英語による経営提言力向上を支援する研修が拡大。こうした需要に対応し、2025年度にはAoba-BBTの知見を結集した「グローバル経営塾」を立ち上げます。

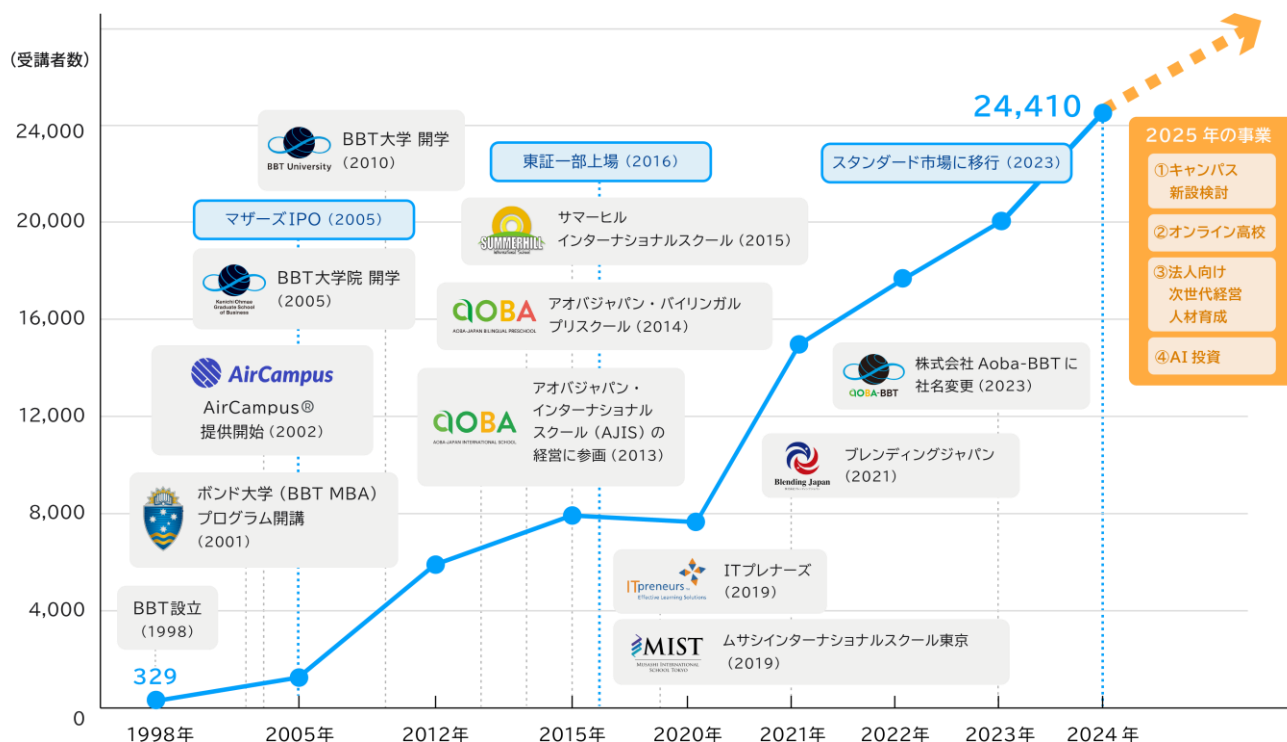
グローバル経営塾 研修案件数 (件)



<文部科学省委託事業を受託>

令和7年度 [WWL (ワールド・ワイド・ラーニング) コンソーシアム構築支援事業] を文部科学省より受託しました。本事業では、弊社の遠隔教育サービス「AirCampus®」とグローバル人材育成の実績を活かし、連絡協議会や全国高校生フォーラム等の企画運営を通じて、探究的学びの高度化と教育現場の課題解決に貢献しています。

グループ成長戦略/ Group strategy



当社グループは、「成長分野への戦略的集中」と、それを支える「組織体制の最適化」を軸に、変化の激しい市場環境にも適応しながら、株主価値の最大化に向けた収益力強化と持続的成長を推進しております。ここでは、短期的な利益貢献を図る主要施策と、中長期的な企業価値向上を目指す成長戦略をご報告いたします。

1. プラットフォームサービス事業

【1.1 デジタル×リアルによる成長戦略の再加速】

- ◆ **拡張戦略の本格始動**：主要キャンパスの定員が上限に近づく中、「デジタル（オンライン）×リアル（新校舎開設）」の複線的成長戦略を加速。オンライン分野では、アジア初となるオンラインIBディプロマ・プログラム（IBDP）を本格展開し、将来的なグローバル収益源の構築に向けた布石を打ちました。
- ◆ **地域連携と国内展開**：2025年には、学校法人北陸学院との業務提携を通じ、探究型学習・英語学習・ICTを活用した教育モデルを推進。Aobaの持つ先進教育モデルの全国展開も視野に入れています。

【1.2 一体運営化による収益構造の最適化】

- ◆ **組織再編による効率化**：2025年3月、Musashi International EducationをAobaへ吸収合併。またインターナショナルスクールとバイリンガルプリスクールの一体運営化を実施し、意思決定の迅速化と収益構造の最適化を加速。
- ◆ **収益性重視への転換**：先行投資中心のフェーズを終え、稼働率最大化・利益率向上を軸とした運営体制へ移行。不採算拠点の閉鎖も含め、事業ポートフォリオの健全化を推進しています。

2. リカレント教育事業

【2.1 法人・次世代経営人材育成領域への集中】

- ◆ **戦略的フォーカスの明確化**：法人向けにフォーカス、中でも「次世代経営人材育成」を中核に据え、当社のマネジメント教育領域の強みを最大限に活用。企業の経営課題と直結した高付加価値プログラムにより高収益化を図ります。

【2.2 横断的機能再編による競争力強化】

- ◆ **部門再編による戦略実行体制の強化**：2025年4月に法人営業とコンテンツ開発を統合し「法人研修事業本部」を新設。同本部内に、法人顧客の戦略的人材育成を伴走型で支援する高付加価値提案特化型の「Corporate Training Hub」と、標準化された高効率講座群で構成する「Learning Hub」を設置。
- ◆ **起業・新事業支援機能の集中**：株式会社ABSおよびMentorMe事業を法人研修事業本部に統合。社内起業・イントレプレナー支援機能を集約し、事業開発支援の一体運用体制を確立しています。
- ◆ **大学・大学院事業の再構築**：BBT大学・大学院・Bond-BBT MBAの3機関において、運営体制を再編し、法人向け派遣対応および短期集中講座を中心とする高収益型モデルへと転換を進めています。

3. 中長期的成長戦略：未来への投資と非連続な成長の実現

- ◆ 当社は、教育品質・学習体験の継続的向上を成長の源泉と捉え、プラットフォーム・リカレント両事業において**生成AI×教育の融合投資**を積極的に進めてまいります。独自の学習基盤「AirCampus®」「AirSearch®」にAIを統合し、**学習体験の高度化とサービスの高付加価値化**を実現することで、継続的な収益力の底上げを図ってまいります。

- ◆ また、成長加速に向け、M&Aや外部提携を視野に入れた非連続な成長戦略を推進。アジアにおけるリーディングEdTechカンパニーとしての地位確立を目指してまいります。

※当社グループは、短期的な収益最大化と中長期的な価値創出を両立させることで、株主の皆様に対し、持続的な利益成長と企業価値の最大化をお約束いたします。今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

特集：プラットフォームサービス事業のご紹介（1/3）

大人向けオンライン教育事業のイメージが強いAoba-BBTですが、実はこの10年で急成長を遂げ、現在では当社の売上・利益の中核を担うまでに成長したのが、国際教育を柱とするプラットフォームサービス事業です。本特集では、同事業を支えるコアリーダーシップチームの声や、卒業生の活躍など「人」に焦点を当て、3ページにわたりその実像をお届けいたします。株主の皆様、Aoba-BBTが展開する国際教育の強みと、その社会的意義をより深くご理解いただければ幸いです。



国際教育の未来を見据えて

日本発・世界基準の教育で描く成長戦略。

Aobaは多様性と卓越性を備えた学校グループへと進化します

Jake Madden 氏

(Aoba International Educational Systems Group Head of School)

2025年度を迎えるにあたり、Aobaの国際教育は大きな転換点に立っています。過去10年間で、日本有数の国際教育ネットワークを築いてきた私たちは、これまでの実績を礎にさらなる飛躍を目指します。視線は「拡大」から「統合」「革新」、そして「国際的な影響力」へと向けています。

近年、教育に対する期待やニーズは大きく変化しており、保護者や生徒、社会が、より柔軟でグローバルな視点と目的意識を持った学びを求めるようになってきました。こうした変化に合わせるべく、私たちは、複数の学校が集まる「グループ」から、一体となった「学校グループ」への進化を進めています。

この進化により、キャンパス間の連携を強化し、カリキュラムと教育手法を統一することで、すべての生徒に知見と経験を最大限に活かした教育を提供できる体制を整えます。2025年度には、教育の質向上、運営効率化、生徒体験の充実を目的

とした、共通の仕組みを導入します。リーダー育成への投資、校舎を越えた学びのプラットフォーム開発、データに基づく教育手法の導入を通じ、教育の一貫性と卓越性を追求していきます。

また、Aobaはアジア初の「オンラインIBディプロマ・プログラム (IBDP)」パイロット校としての経験を活かし、国内外に向けてオンライン・ブレンDED型教育をさらに拡充します。これにより、より多くの生徒へ質の高い教育を届け、国際教育分野における革新の先駆者としての地位を確固たるものにしてまいります。

私たちの目指すのは、世界に認められる教育グループとなること。そして、異なる文化を理解し、複雑な時代を生き抜き、社会に貢献できるリーダーを育てることです。その実現に向けて、確かな歩みを続けてまいります。

インターナショナルスクール事業の成長トレンド/ Our Growth Story

日本最大級のインターナショナルスクールグループへ

2013年の事業開始からわずか10年あまりで、生徒数は当時の約6倍に拡大。現在は約1,500名以上が在籍する、日本有数の規模を誇るインターナショナルスクールグループへと成長しました。

1歳から18歳まで、保育・幼児・初等・中等教育を網羅した一貫教育システムを提供。英語・日本語をはじめとする多言語環境で、国際的な感性を育てる教育を4つのスクールブランドで展開しています。



新設：高等部特化の文京キャンパスとオンラインDP

2022年より、高等部の教育に特化した文京キャンパスを開校。中等・高等教育のさらなる質向上を図り、大学進学・キャリア形成を強力にサポートします。高等部では、アジア初・日本唯一のオンラインIBDPパイロット校として認定され、国内外を問わず高品質なIB教育の提供を実現。柔軟な学びの選択肢を広げています。さらに、卒業生は世界トップレベルの大学へ多数進学。高い学力とグローバルな視野を持つ人材を輩出しています。

世界基準の信頼を獲得する認証校

Aobaは、国際バカロレア (IB) およびケンブリッジ国際カリキュラムという世界2大カリキュラムを提供する数少ない学校の1つです。さらに、国際的な学校評価機関であるCIS (Council of International Schools) およびNEASC (New England Association of Schools and Colleges) からの認証を取得しており、その教育品質は世界的に高く評価されています。これらの認証は、グローバルスタンダードに準拠した教育機関であることの証であり、Aobaの確かなブランド力を支えています。




データで見る Aobaブランド

 **1,500+**
Aoba Group Students

 **46**
Nationalities

 **48**
Year Inspiring

 **95%**
Matriculation Rate

Aobaが提供する国際教育

4つのブランドからなる国際教育グループへと成長したAobaグループは、世界標準のカリキュラムを柱とし、教育事業の中核を担っています。エリア別・年齢別の教育展開に加え、オンライン教育との融合を含む多層的な拡張戦略により成長を続けてきましたが、その成長と挑戦について、国際教育の最前線の方々にお話を伺いました。



Kevin Page 氏
 (Aoba国際教育システム
 諮問委員会メンバー)

■ 国際教育の原点と未来：IBプログラムが描く学びの連続性

1968年、スイス・ジュネーブのインターナショナルスクールで誕生したIBディプロマプログラム (DP) は、国境や文化を越えて移動する家庭の子どもたちが、世界中どこでも学びを継続できるように設計されました。私はその後、初等教育向けのPYP (プライマリー・イヤーズ・プログラム) の創設を国際学校の同僚たちと共に進め、「教科書ではなく、探究を通じて子ども自身が学びを主導する学びの枠組み」を設計思想の中心に据えました。IBは国家カリキュラムに縛られず、多言語・多文化に対応できる柔軟性を持つ教育モデルとして世界中に広がっています。Aobaグループはその理念を継承し、短期間でPYP・MYP・DPすべてのIB認定を取得するという、国際教育における特筆すべき成長を遂げました。私は「教育の成功は、子どもたちのために最適な学びの環境を構築できるかどうかにかかっている」と確信しています。

“私たちは、学生を学びの中心に置き、教師ではなく生徒が探究を通じて自ら学ぶ教育を目指したのです。Aobaが成長できたのは、ビジョンを共有するリーダーと、探究型教育に共鳴する教師たちを戦略的に集めてきたからだと思います。”
 — AJIS国際教育システム諮問委員会委員メンバー Kevin Page氏



Edward Lawless 氏
 (元・Aobaグループの
 教育戦略ディレクター)

■ 未来の学びを再定義する：オンライン教育が拓く国際教育の可能性

私はこれまで、カタール財団グループの15校を統括しながら、IB校、代替教育校、音楽アカデミー、バイリンガル初等教育校など、多様な学びの現場に関わってきました。中でも、Aoba Japan International SchoolおよびPamoja Onlineでの経験は、国際教育におけるオンライン・ブレンデッドラーニングの展望と課題に向き合う転機となりました。Aobaで私たちが取り組んだのは、単なるICT導入ではなく、「なぜオンラインで学ぶのか」という教育的価値の再定義から始めることでした。アクセスの格差を埋め、学びの選択肢と柔軟性を広げること。教師の役割を再設計し、テクノロジーが担うべき機能と人が担うべき機能を明確にすること。そして、運営・財務・マーケティング面でも持続可能なモデルを構築すること。これらの統合的な設計が、Aobaにおけるオンライン教育の成功の鍵だったと考えています。

“テクノロジーには「できること」を任せ、人間には「人にしかできないこと」に集中させる。それが本当の教育改革の出発点です。Aobaで私たちが蒔いた種は、今や世界中のIB教育の中でも注目される存在へと育ちました。私はその初期段階に関われたことを誇りに思います。”
 — 元・AJISグループの教育戦略ディレクター Edward Lawless氏



■ Online DP

Aoba Global Campus が描くグローバル・デジタル教育の未来。 世界水準の探究学習を、国境を越えてすべての学習者へ

Aoba Global Campus (AGC) は、Aoba Japan International Schoolが有する質の高い探究型教育を、オンラインの力で世界中の学習者に届けるために設計されたデジタル教育プラットフォームです。メタ認知に基づく学習設計、チームベースの協働学習、AIを活用した形成的評価など、先進的な教育理論を軸に据え、学びの質とアクセスの両立を目指しています。

その第一歩として始動する「オンラインIBDPパイロット (国際バカロレア・ディプロマ・プログラム)」は、IB機構の認定のもと、アジアで唯一、Aobaが主導する完全オンライン型のIBDP提供モデルです。2025年8月より、アジア太平洋地域の複数国から参加する学生を対象に本格開講予定であり、地理的・経済的制約のある地域の生徒に対し、世界基準の教育への扉を開きます。

この取り組みは、AGCがグローバルな教育プラットフォームとして持つ拡張性と教育的効果を証明するものとなり、Aobaのブランド価値と持続的成長に寄与する重要なマイルストーンです。

#1 アルムナイ

グローバルな教育が生んだ17歳起業家

——AI進学支援で15,000人超に影響を与えるリーダーへ



ベスト林龍聖氏
(Ryusei Hayashi Best)

Ryusei氏は、2021年にAoba Japan International School (AJIS) をIBディプロマ・プログラム (IBDP) スコア42で卒業。現在は、AIを活用した進学カウンセリング・スタートアップ「Reach Best, Inc.」の創業者兼CEOとして、世界中の高校生と教育機関にサービスを提供しています。

メキシコ系日本人の家庭に生まれ、メキシコシティで育ったのち、2018年に東京へ移住してAobaに入学。在学中は生徒会の総責任者としてリーダーシップを発揮し、タイ・ミャンマー国境での医療支援活動 (GPSA) への参加や、スタンフォード大学e-Japanプログラムの国内奨学生選出など、多方面で実践的な経験を積みました。

卒業後はカリフォルニア大学バークレー校に進学し、国際関係学と人工知能を主軸とした政治学を専攻。在学中は学生会国際部ディレクターを務めるなど引き続き活躍し、Dean's List (成績優秀者) として卒業しました。

わずか17歳で起業したReach Bestは、当初は友人の進学支援を目的として設立されましたが、5年間で15,000人を超える学生にサービスを提供するグローバル企業へと成長。その取り組みは、San Francisco ChronicleやTV Aztecaといった国際メディアからも高い評価を受けています。

Ryusei氏は、「Aobaでの学びを通じて、グローバルな視点、主体性、そしてリーダーシップを養うことができた」と振り返ります。起業、学術、社会的貢献の各分野における彼の成功は、Aobaが提供する革新的かつ国際的な教育の価値を象徴するものといえるでしょう。

#2 アルムナイ

国際的視野と探究心が導いた進路

——人権と法の専門家を志す次世代のリーダー



ドカティー麗愛氏
(Reia Docherty)

Reia氏は2024年にAoba Japan International School (AJIS) をIBディプロマ・プログラム (IBDP) スコア40で卒業。現在は、英国ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン (UCL) にて法学 (LLB) を専攻しています。

シンガポールで生まれ育ち、2018年に東京へ移住。Aobaでは6年間にわたり、探究型学習とグローバル・シティズンシップ (地球市民意識) を中心とした教育を受け、それが将来のキャリア観に大きな影響を与えたと語ります。「CASプログラムやソーシャル・アントレプレナーシップのプロジェクトに参加する中で、共感力・主体性・リーダーシップの重要性を学びました。教室の外での経験が、強い社会的責任感を育んでくれました」と振り返ります。

また、Aobaの多様なコミュニティに身を置いた経験が異文化理解力とグローバルな視野を広げ、自身の成長にとってかけがえのないものになったと強調します。厳格なIBカリキュラムと、批判的かつ自律的な思考を促す学習スタイルは、大学での学びや将来の活動にも大きく活きているといいます。

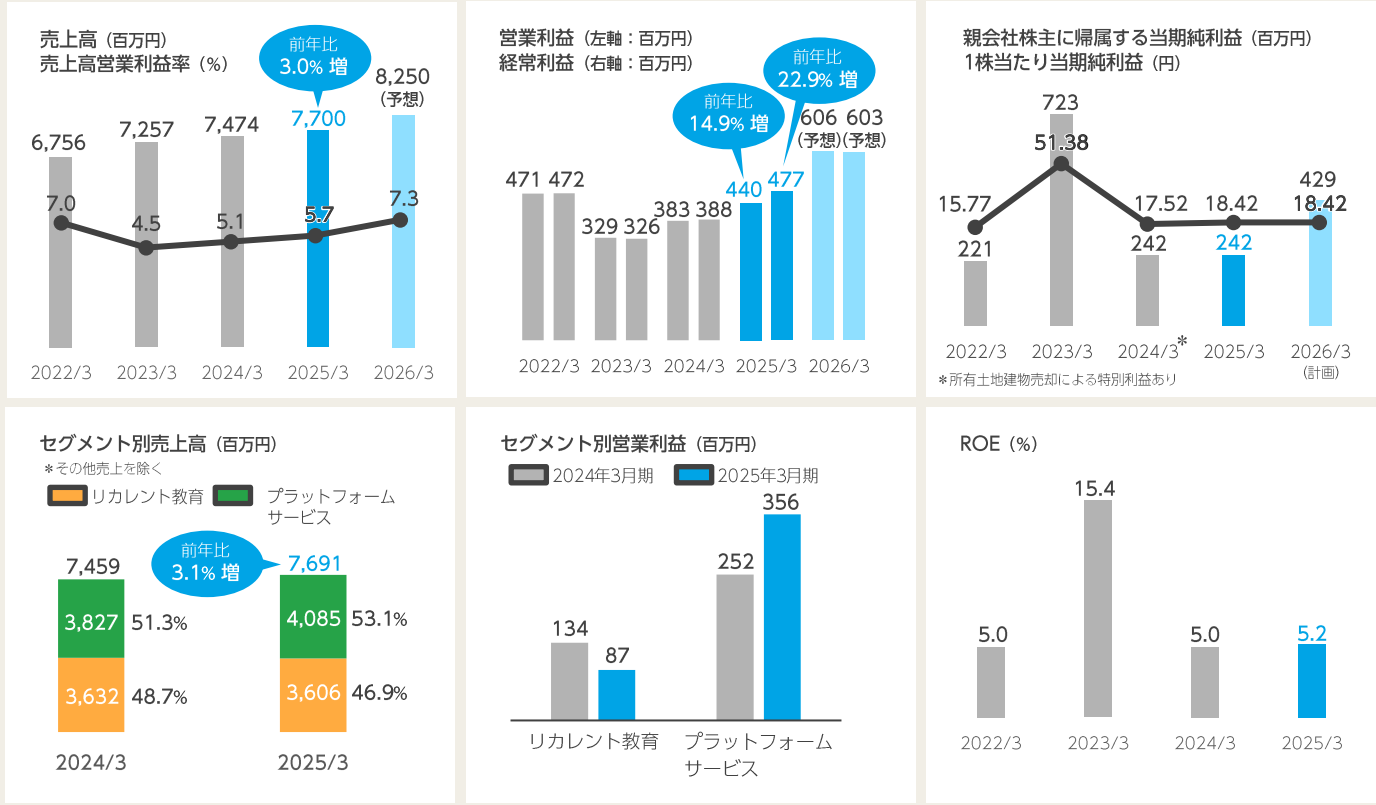
将来的には正義と人権の推進を通じて社会に貢献することを目指しており、Aobaの教育がこれからも多くの若者に変革への志を育んでいくことを願っています。

2025年3月期：業績サマリー

- 【売上】 **16年連続増収**、連結会計年度として過去最高を更新。
- 【利益】 営業**増益**。金利上昇と資本コストを意識した収益性強化で利益率5.7%へと改善。

2026年3月期：計画

教育市場における成長を引き続き推進し、成長分野の選択と集中、そしてそれを具現化するための組織改編といった取組方針を通じ、売上高8,250百万円（前期比7.14%増）、営業利益606百万円（同37.7%増）を見込んでおります。



株主優待制度

株主優待制度：より魅力的にリニューアルしました！

日頃よりAoba-BBTをご支援いただいている株主の皆様への感謝の気持ちを込めて、2025年度より**株主優待制度を刷新**いたします。より多くの皆様にご活用いただけるよう、人気の高いプログラムに特化し、**保有株式数に応じたパウチャー制度**を導入しました。

【保有株式別パウチャー割引額】

保有株式数	パウチャー割引額	現状
100～999株	30,000円	講座価格10%割引
1000株～	45,000円	講座価格20%割引

【改訂のポイント】

- ・毎年ご利用があるプログラムに特化、英会話は対象講座拡大
- ・人気の高い大前研一ライブ・アワーを新設
- ・保有株式数に応じ、講座受講料割引できるパウチャー券を発行



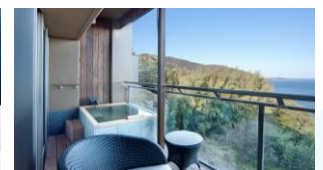
ミッション・イングリッシュ (オンライン英会話)



大前研一ライブ・アワー



BBT Channel (ビジネスオンデマンド動画サービス)



「ATAMIせかいいす」優待宿泊

今後も、株主の皆様にとって魅力ある特典となるよう改善に努めてまいります。ぜひ、この機会に当社プログラムをご活用ください。

株主還元政策について

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の1つと位置づけ、各期の経営成績、企業体質の強化と今後の事業展開に向けた内部留保の充実等を総合的に勘案しつつ、継続的な配当の実施に努めることを基本方針としております。

人的資本政策

当社では、Lifetime Empowerment のビジョンを体現する人的資本政策に取り組んでいます。

【女性活躍推進】

(1)女性管理職比率 グループ全体 50%

	管理職数	うち女性	女性管理職比率
Aoba-BBT単体	22	8	36.4%
国内グループ会社	29	15	51.7%
海外グループ会社	17	11	64.7%

(2)子育て支援 育児休業後の職場復帰：100%

男性の育児取得者：5名（対象者9名中）※連結

年間配当金

	1株当たり配当 (年間/円)	配当性向 (%)
2025年3月期	11.0円	59.7

【従業員の育成 (Aoba-BBT単体)】

コース	受講者数	総研修時間	受講対象者	平均受講時間
語学研修	22	1,250h	正社員 135名	11.3h
Leadership・論理思考 他	29	2,075h	正社員 135名	15.4h
映像研修 (毎週配信)	188	21,786h	178名 (派遣等含む)	122.4h

※社内コンテンツの受講を推奨し、1人当たり年間56.1時間の研修を実施。

【その他 (Aoba-BBT連結)】 国際バカロレア認定校やケンブリッジ

国際認定校は、認定維持の観点からも研修を定期的実施

株式の状況

(2025年3月31日現在)

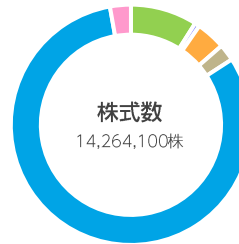
発行可能株式総数	30,000,000株
発行済株式の総数	14,264,100株
株主数	4,687名

大株主

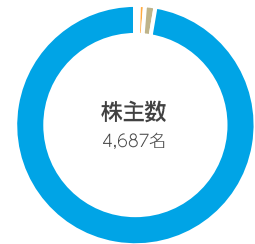
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
大前 研一	4,800,300	34.63
日本カストディ銀行 (信託口)	1,200,000	8.66
上原 俊彦	450,100	3.25
久保 博昭	240,000	1.73
酒井 拓	227,200	1.64
伊藤 泰史	200,200	1.44
宮本 雅史	198,000	1.43
大西 寛	171,500	1.24
日森 潤	169,700	1.22
村井 純	166,000	1.20

所有者別分布状況

(2025年3月31日現在)



金融機関	8.98 %
証券会社	0.66 %
その他の法人	3.95 %
外国法人等	2.26 %
個人・その他	81.34 %
自己株式	2.81 %



金融機関	0.06 %
証券会社	0.41 %
その他の法人	0.81 %
外国法人等	1.41 %
個人・その他	97.29 %
自己株式	0.02 %

会社概要

(2025年3月31日現在)

商号	株式会社Aoba-BBT (英語表記: Aoba-BBT, Inc.)
本店	東京都千代田区六番町1番7号
所在地	六番町オフィス (本社) 〒102-0085 東京都千代田区六番町1番7号 麹町オフィス 〒102-0084 東京都千代田区二番町3番地 TEL: 03-5860-5530 FAX: 03-3265-1381 URL: https://aoba-bbt.com/
設立	1998年4月
資本金	18億16百万円
上場証券	東京証券取引所スタンダード市場 (証券コード: 2464)
従業員数	連結: 637名 単体: 135名

株主メモ

定時株主総会	毎年4月1日から翌年3月31日まで
配当基準日	毎年6月開催
	期末配当金 毎年3月31日
株主名簿管理人	中間配当金 毎年9月30日
	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
事務取扱場所	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
(郵便物送付先)	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031
(インターネット)	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/
ホームページURL	電子公告の方法により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
公告の方法	



<https://www.bbt757.com/ir/>

Aoba-BBT IR

検索